

2024年度 女子中高生理系進学推進セミナー開催レポート

2024年8月9日（金）、名古屋大学では「女子中高生理系進学推進セミナー2024」を開催しました。本セミナーは、女子中高生の皆さんに理系分野の魅力を伝え、進路選択の参考にしていただくことを目的としています。

今年度も対面形式で、オープンキャンパスに合わせて実施され、参加者が直接交流できる貴重な機会となりました。

開催概要

- **開催日**：2024年8月9日（金） オープンキャンパスと同時開催
- **形式**：対面方式（講演会＋交流会）
- **対象**：中学生・高校生および保護者、教員など
- **参加者数**：160名（事前申し込み138名、当日参加22名）
- **内訳**：高校生69名、中学生28名、保護者55名、その他8名

プログラム内容

(1) スペシャルトーク（3件）

- 吉橋幸子（工学部 教授）
「医療につながるテクノロジー」
医療現場で活躍する最新技術の紹介があり、「技術がどのように人の命を支えているか知ることができた」「工学と医療のつながりに感動した」といった声が寄せられました。
- 谷川東子（農学部 准教授）
「好きな木だけ植えていいの？ー森づくりを土壌科学から考えるー」
森づくりを科学的に考える切り口が紹介され、「森林や環境問題への関心が高まった」「理系の視点から自然を見る面白さを知った」と好評でした。
- 上田彩果（理学部 特任助教）
「植物をコントロールする化合物の開発」
植物の成長や性質を制御する研究内容がわかりやすく説明され、「植物科学に新しい可能性を感じた」「身近な植物にもっと興味が湧いた」という声が多く寄せられました。

交流会

昨年度に続き、各学部の教員や女子学生と自由に話せる交流会を開催しました。工学部、理学部、医学部、農学部、情報学部の5学部およびあかりんご隊のブースが設置され、参加者は学部での学びや研究内容、大学生活などについて熱心に質問をしてい

ました。

参加者の感想（一部）

- 「先生や先輩のリアルな話が聞けて、とても参考になった」
- 「将来の進路が少しずつ明確になってきた」
- 「保護者としても安心して話を聞ける雰囲気が良かった」
- 「理系に進みたい気持ちがさらに強くなった」

保護者からは「学生の生の声を聞いたことで、子どもの希望をより具体的にイメージできた」「大学での生活がわかり、安心した」という意見が多く寄せられました。

参加状況と全体の反応

当日は160名が参加し、高校生・中学生・保護者が一緒に理系の世界を体感しました。熱心に話し込む様子や、笑顔で質問を続ける姿が多く見られ、活気ある会場となりました。

まとめ

2024年度は、対面ならではの直接交流の魅力を最大限に活かし、参加者にとって充実した学びと出会いの場となりました。名古屋大学では、これからも女子中高生の理系進学を積極的に支援し、一人ひとりが未来に向けて大きな一歩を踏み出せるよう応援してまいります。



講演会の様子



交流会の様子